S E R I NEWS RELEASE

財団法人静岡経済研究所 理事長 古知弘行 〒420-0853 静岡市葵区追手町 1-13 アゴラ静岡 5 階 TEL054-250-8750 FAX054-250-8770

平成 21 年 10~12 月期 静岡県内主要産業の四半期見通し

「平成21年10~12月期 静岡県内主要産業の四半期見通し」 <要旨>

- □平成21年9月実施の静岡県内主要産業(20業種)の四半期見通し調査では、現在 (7~9月期)の業況は、『好調』、『順調』、『普通』の業種はなく、『低調』が14 業種、『不調』が6業種となっている。
- □10~12月期の見通しについては、20業種中1業種が『やや上昇』、17業種が『横ばい』、2業種が『やや下降』を見込んでいる。
- □消費・投資マインドが冷え込み、本格回復への好材料が見当たらない中、県内産 業景気は底ばいに近い低調な状況にある。

回復へのきっかけつかめず 県内産業景気は底ばいの状態が続く

静岡県内産業の四半期ごとの業況推移

年 次			平成18年	平成19年				平成20年				平成21年			
	匹	1 半 期	Ŋ.	IV	ı	П	Ш	IV	- 1	11	Ш	IV	1	- 11	 (今回調査)
対象月(○は調査月)			10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	10~12	1~3	4~6	7~9	
	(業種数)	好調	0	1	1	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
		順調	0	2	1	1	1	1	1	2	2	0	0	0	0
		普通	•	9	10	11	11	9	8	8	7	3	0	1	0
		低調	•	9	9	8	8	10	11	10	11	17	12	13	14
業		不調	/////	1	1	1	1	1	1	0	0	0	8	6	6
界	全業種の平均階級値		2.68	2.64	2.68	2.68	2.59	2.55	2.60	2.55	2.15	1.60	1.75	1.70	
景気	好調:5														
の現		順調:	4												
況		普通:	3	•	•	•	•	•			_				
	低調:2										A	•	•	-	
		不調:	1												
業	(業種	上	昇一	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
芥 景		やや上	.昇 /	1	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	1
気の		横ば	() →	21	21	22	22	22	21	16	18	5	13	17	17
業界景気の見通し	数)	やや下	降~	0	1	0	0	0	0	4	2	15	6	1	2
置し		下	降┪	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

- 注1)「業界景気の現況」及び「業界景気の見通し」は、対象企業経営者が業界景気動向をどうみているかを調査したもの。 調査は、毎年3、6、9、12月に実施。「業界景気の現況」とは、調査時点(9月調査であれば7~9月期)にお ける業況、「業界景気の見通し」とは、調査時点における翌期(9月調査であれば10~12月期)の見通しを示す。
- 注2) 調査方法は、アンケート調査とヒアリング調査による。アンケート調査の概要は以下の通り。 調査時点…平成21年9月中旬

調查対象企業…県内主要20業種(187社)

- 注3) 平成20年第Ⅲ四半期(4~6月) 時点で調査対象業種を変更しており、それ以前と以降の数値に連続性はない。
- 注4) 平均階級値は、好調:5、順調:4、普通:3、低調:2、不調:1とする、半期調査業種を除く20業種の平均値。

県内主要産業の動向

(1)業界景気の現況について

県内主要産業の20業種の現在($7\sim9$ 月期)の業況は、『好調』、『順調』、『普通』の業種はなく、『低調』が14業種、『不調』が6業種となり、依然として底ばいに近い状況が続いている。

前回6月調査では『普通』が1業種、『低調』が13業種、『不調』が6業種であったが、需要低迷に加え天候不順の影響を受けた食品・飲料が前回の『普通』から『低調』に1ランク下降した。一方、エコカー減税・補助金の効果が現れて自動車販売が『不調』から『低調』へと上向いたが、個人の投資意欲の減退で着工戸数が低迷して『低調』から下降した住宅をはじめ、内外需の冷え込みを受けた工作機械、自動車部品、二輪車部品、大型小売店、リースの6業種が『不調』であった。

(2) 業界景気の見通しについて

先行き10~12月期の景気見通しは、20業種中1業種が『やや上昇』、17業種が『横ばい』、2業種が『やや下降』を見込んでいる。

内訳をみると、各国の経済対策の効果で内外需が持ち直している自動車部品で『やや上昇』予想となったが、新型インフルエンザの流行に伴う売上減少懸念もある外食と、企業の雇用に対する慎重な姿勢を受ける人材派遣業の2業種で『やや下降』と見込まれる。また、個人所得や市場環境の悪化見通しから消費の伸び悩みが予想される大型小売店、二輪車部品と、企業や個人の消極的な投資スタンスにより需要低迷が続く工作機械、リース、住宅の5業種で『不調』のまま横ばい見通しとなった。

一方で、家電エコポイント制度やエコカー減税など消費刺激政策の効果が現れたり、観光・レジャーでは浜名湖立体花博の特需が見込まれるなど明るい材料も一部にあるが、全体としては消費・投資に本格回復の兆しはなく、民生用電器部品、食品スーパー、建設、情報サービスなど、12業種で『低調』のまま横ばい状態が続くとみられる。

なお、半期調査業種では、繊維は需要低迷に加えて在庫の水準が高く『低調』から『不調』に悪化の見込みで、製材も住宅需要の冷え込みから『低調』が続く見通し。

(3) 需給バランス、在庫水準、価格動向について

在庫水準は、調査対象14業種のうち、家庭紙、産業用紙、工作機械、二輪車部品、建設、 住宅の6業種で『過多』となっている。

また、需給バランスは、調査対象19業種のうち1業種で『非常に供給超過』、15業種で 『供給超過』とみており、多くの業種で依然として需給ギャップが存在している。

製品価格については、『下降』を見込む業種は前回調査と同じく5業種であった。

消費・投資マインドが冷え込み、本格回復への好材料が見当たらない中、県内産業景気は平成21年第 I 四半期 (1~3月) から引き続き、底ばいに近い低調な状況にある。

平成21年10~12月期 静岡県内主要産業四半期見通し調査一覧表

調	業	業		静	岡 県	内	主	要	産	業(の見	Ĺ	通	L
査項	界景	業界景気	生産	売上	生産量	売上	操	需	製	原前	製品で	ĭ	Ť	受
業	京気	気の	量	高	THE RESERVE AND ADDRESS OF	高		給バ	品在	原材料価	ATTE S	3	È	注
*	の現	見通	前対 7比	前対7比	前伸年	前伸年	業	ラ	庫	価格の動	四格の動向 動向	*	喿	残
種	況	週し	7~9月期)	7~9月期)	同び 期 比率	同び 期 比率	度	ンス	水準	動向	動向)	(カ月)
				(0)	-50	-5)	IX.		+	le0	JFJ		,	(2/7)
製茶	•	-			_	7	0	供給超過	適正	7	→	普	通	
食品・飲料	4	-	→	→	`	7	0	均 衡	適正	-	-	普	通	0.3~1.0
家 庭 紙	4	-	1	1	`	7	0	供給超過	過多	-	→	普	通	0.2~1.0
産業用紙	•	-	→	→	`	7	\Diamond	供給超過	過多	-	→	普	通	0.5~1.0
工作機械	/////	-	→	-	B	M	•	非常に供給超過	過多	-	`\	普	通	1.0~3.0
民生用電器部品	4	-	→	→	→	→	0	供給超過	適正	→	7	普	通	0.3~1.5
自動車部品	/////	1	1	1	B	Ω	•	供給超過	適正	→	→	普	通	0.1~3.0
二輪車部品	/////	-	→	→	Ω	Ω	0	供給超過	過多	-	-	普	通	0.1~1.5
建設	480	-	_	→	_	→	0	供給超過	過多	-	→	普	通	3.0~7.0
住 宅	/////	→	_	→	-	7	\Diamond	供給超過	過多	→	-	普	通	1.0~6.0
大型小売店	/////	-	_	1	-	~	-	供給超過	適正	-	7	普	通	- 1
食品スーパー	4	-	_	1		7	-	供給超過	適正	-	~	普	通	
自動車販売	•	-		1	_	1	_	均 衡	適正	→	→	普	通	_
家電量販店	4	-	_	→	-	→	-	均 衡	適正	-	7	普	通	-
運輸・倉庫	4	-		→		\mathfrak{D}	0	供給超過		1	→	普	通	_
情報サービス	-	-	_	→	_	`	0	供給超過		-	-	普	通	
外 食	-	`~		→	-	`	-	供給超過	_	-	-	普	通	
観光・レジャー	•	→		`		1	_	供給超過		→	-	逼	迫	
リース	/////	→	_	`	_		_	_		_		普	通	_
人材派遣	•	`	_	`		B	0	供給超過		-	→	普	通	
〈特別調査 平成21年10月~平成22年3月期 半期見通し〉														
繊維		`	`\	`	2	M	\Diamond	供給超過	過多	,	→	普	通	0.5~1.0
製材	•	→	→	→	`	`	\$	均 衡	適正	→	→	普	通	_

表の見方と注意

業界景	景気の現況	業界景気の見通し	生産量・売上高の伸び率 原材料・製品価格の動向	操業度	需給バランス	製品在庫水準	資金繰り
好	調〇	上 昇 ┛	非常に増加・上昇 (+10%以上)	100∼90% ◎	非常に需要超過	非常に過少	非常に余裕
順	調	やや上昇 /	増加・上昇 / (+3~+9%)	89~80%○	需要超過	過少	余 裕
普	通 ①	横ばい→	横 ば い (+2~△2%) →	79~70%♦	均衡	適 正	普 通
低	調	やや下降 🔪	減少・下降↓ (△3~△9%)	69~60% ⊙	供給超過	過多	逼 迫
不	調 ////	·下 降 ┪	非常に減少・下降 △ (△10%以下)	59%以下●	非常に供給超過	非常に過多	非常に逼迫

⁽注) 特別調査 (繊維、製材) は半期ベース ($4\sim9$ 月期の現況と $10\sim3$ 月期の見通し、前期比・前年比もすべて半期ベース)。 半期調査対象企業… 2 業種の企業10社。